

西松・地崎・勝村特定JV

（津川町）の
工事現場
で、新十津

バイオディーゼル燃料導入 徳富ダムの工事車両に

CO₂を増やさない

西松・地崎・勝村特定建設
工事共同企業体は、このたび
建設中の徳富ダム（札幌開建）
建設工事で、バイオディーゼ
ル燃料を工事車両に導入する
ことにした。

地域温暖化問題への対応が
迫られる現在の情勢下、同建
設工事共同企業体では、工事
現場でできることから始めて
いくことが大事との考えか
ら、建設中の徳富ダム（新十

川町）と連携して同燃料導入の
取り組みを行ってきた。
同燃料は、公共施設などで
発生する植物性の廃食油やエ
ネルギー作物として栽培され
た菜種、ひまわり種子などが
ら生産された植物油などを原
料とし、ディーゼルエンジン
を稼働させることができる軽
油の代替となる燃料。植物の
成長過程で二酸化炭素を吸収
するので、ディーゼルエンジ

ンで燃焼させても地上の二酸
化炭素を増加させることには
ならない。植物油油脂から脂
肪酸メチルエーテルを製造す
るなどしてバイオディーゼル
燃料90Lを精製するもの。
工事現場が稼働する4-11月
まで、現場職員用のディーゼ
ル車両、散水車などに使用を
予定しており、建設機械への
適用の可能性も探る。

今後、同工事共同企業体は、
新十津川町とさらに連携を深
めながら、地域の環境保全に
貢献できるよう取り組む。今
回の同燃料の製造に加えて、



バイオディーゼル
燃料使用状況



原料（廃食油）投入状況

耕作放棄地など
へのエネルギー
作物である菜の
花などの栽培
と、これを原料
とするバイオデ
ィーゼル燃料の
製造を検討して
いくことを考え
ている。